

日本学術会議 地域研究委員会

多文化共生分科会

(第26期・第6回)

議 事 要 旨

1. 会議名 地域研究委員会 多文化共生分科会 (第26期・第6回)
2. 日 時 2025年7月20日(土) 16:00~18:00
3. 場 所 上智大学(四谷キャンパス) 2号館6階615a会議室
対面とオンライン併用のハイブリッド会議

【出席者】

<対面での出席>

稲葉、上杉、大西、小長谷、鈴木、竹沢、宮崎、森本、吉村

<オンラインでの出席>

梅屋、香室、北中、窪田、田村

【欠席者】

陳、松田、丸山(あいうえお順)

【議題】

(1) 前回の議事録確認

確認の上、承認された。

(2) 委員の報告に先立ち、急遽、以下の2点について報告、提案・審議がなされた。

①日本学術会議の最近の動向に関する報告(小長谷委員)

②竹沢分科会委員長より、現下の排外主義(外国人排斥)の拡大に対して分科会としてなんらかの声明を発出するべきではないかという呼びかけがあり、吉村副委員長から学術会議の過去の例に倣って「緊急声明」が妥当との見解が示された。その結果、分科会として「緊急声明」を準備することが全会一致で承認された。その上で、予備的に声明文に盛り込む事項の検討がなされた。

(3) 香室結美委員(熊本大学文書館)より、「地域社会の痛みの歴史から『共生を考える：資料アーカイビングの実践事例から』と題する報告がなされ、その後、質

疑応答が行われた。

(4) 吉村真子委員（法政大学社会学部）より、「マルチ・エスニック社会における多文化共生：マレーシアの事例からの問題提起」と題する報告がなされ、その後質疑応答が行われた。

(5) 今後の活動予定

排外主義（外国人排斥）に反対する「緊急声明」の発出後、それをフォローアップするようなリレートークないしシンポジウム等を開催する可能性を検討する。

(6) その他

今期の分科会における報告や分科会で共催した講演会等の成果を論文集等として公表する可能性を検討する。

以上